

Japanese Utility Model Publication No. HEI 2-8813 Y

Publication date : March 2, 1990

Applicant : NISSAN MOTOR CO.,LTD.

Title : EMERGENCY LOCKING APPARATUS OF VEHICLE DOOR

5

(57) Scope of Claim for a Utility Model

An emergency locking apparatus of a vehicle door in which a lock striker is mounted on any one of one side edge portion of a vehicle slide door having a door locking apparatus arranged in one side edge portion, and a

10 vehicle body door opening edge opposing to the one side edge portion, and a latch member engaging with the lock striker at a time of closing the door is mounted on another side, wherein

the lock striker is constituted by a shaft extending toward the latch member, and a locking unit provided in a leading end portion of the shaft,

15 the latch member is constituted by a plate body forming a surface of the another side, and the plate member is provided with an insertion hole to which the lock striker is inserted in a door sliding direction, and a slit portion which is provided continuously with a side portion of the insertion hole and allows the shaft of the lock striker to move at a time of displacing the slide door,

20 in a piercing manner, and

when the slide door is closed, the lock striker is inserted to the insertion hole of the latch member and the locking unit of the lock striker is positioned in front of the insertion hole, and when the door is displaced, the shaft of the lock striker moves within the slit portion, and the locking unit is locked with a back

25 surface peripheral edge portion of the slit portion so as to prevent the lock

striker from being detached in the sliding direction.

#### Brief Description of the Drawings

Fig. 1 is a side elevational view of a motor vehicle having a slide door  
5 to which the invention is applied; Fig. 2 is an enlarged cross sectional view  
along a line II-II in Fig. 1; Fig. 3 is a cross sectional view along a line III-III in Fig.  
1; Fig. 4 is a perspective view of a structure of a dovetail male and a dovetail  
female; Fig. 5 is an exploded perspective view of a structure of an emergency  
locking apparatus according to a first embodiment of the invention; Fig. 6 is a  
10 cross sectional view of an arrangement state of the apparatus; Fig. 7 is a cross  
sectional view at a time of a slide door being displaced; Fig. 8 is an exploded  
perspective view of a structure of an emergency locking apparatus according  
to a second embodiment of the invention; and Fig. 9 is a cross sectional view of  
an arrangement state of the apparatus.

## ⑫実用新案公報 (Y2)

平2-8813

⑬Int.Cl.

B 60 J 5/06

識別記号

序内整理番号

Z 6848-3D

⑭公告

平成2年(1990)3月2日

(全6頁)

⑮考案の名称 車両用ドアの非常用ロック装置

審判 昭63-233

⑯実願 昭57-37102

⑰公開 昭58-141073

⑱出願 昭57(1982)3月18日

⑲昭58(1983)9月22日

⑳考案者 細川 満 神奈川県横須賀市夏島町1番地 日産自動車株式会社追浜工場内

㉑考案者 加藤 信次 神奈川県横須賀市夏島町1番地 日産自動車株式会社追浜工場内

㉒考案者 杉山 直之 神奈川県横須賀市夏島町1番地 日産自動車株式会社追浜工場内

㉓考案者 塩川 直輝 神奈川県横須賀市夏島町1番地 日産自動車株式会社追浜工場内

㉔考案者 石田 克己 神奈川県横須賀市夏島町1番地 日産自動車株式会社追浜工場内

㉕出願人 日産自動車株式会社

㉖代理人 弁理士 土橋皓

審判の合議体 審判長 土井 清暢 審判官 長瀬 成城 審判官 吉国 信雄

㉗参考文献 実開 昭51-39923 (JP, U)

1

2

## ㉘実用新案登録請求の範囲

一側縁部にドアロック装置が配設された車両用  
スライドドアの一側縁部と、この一側縁部に向か  
い合う車体ドア開口縁とのいずれか一方側にロ  
ックストライカを取付け、他方側にはドア閉時にロ  
ックストライカと係合するラッチ部材を取付けて  
なる車両用ドアの非常用ロック装置において、

上記ロックストライカをラッチ部材に向かう軸  
部と、この軸部の先端部に設けられた係止部とで  
構成し、

一方ラッチ部材を上記他方側の表面を形成する  
板体で構成すると共に、この板体に前記ロックス  
トライカがドアスライド方向で挿入される挿入孔  
と、この挿入孔の側部に連続して設けられスライ  
ドドアのドア変位時に前記ロックストライカの軸  
部が移動可能なスリット部とを開設し、

スライドドア閉時にはラッチ部材の挿入孔にロ  
ックストライカを挿入して該ロックストライカの

係止部を挿入孔より先方に位置させ、ドア変位時  
にはロックストライカの軸部がスリット部内を移  
動し、係止部がスリット部の裏面周縁部と係止し  
てロックストライカのスライド方向での離脱を防  
止するようにしたことを特徴とする車両用ドアの  
非常用ロック装置。

## ㉙考案の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

この考案は、車両用ドアの非常用ロック装置に  
関する。

## 〔従来の技術〕

従来、車体側部に沿つて摺動するスライドドア  
を有する車両にあつては、第1図と第2図に示す  
ように、スライドドアDの上下端部にアッパー  
アーム1とロワアーム2とを配設し、このアッパー  
アーム1とロワアーム2のローラ3, 4を夫々車  
室内上下部に配設したスライドレール5, 6に摺  
動可能に装着するとともに、スライドドアDの後

側縁部中央に配設したセンターローラを車体外板に配設したセンタースライドレール10に摺動可能に装着することによりスライドドアDを車体側部に沿つて摺動可能に支持している。一方、上記スライドドアDの後側縁部Drには、この後側縁部Drと対面する車体ドア開口の後側縁部Brに固定されたストライカと噛合するドアロック装置Lが配列されていると共に、該スライドドアDの前側縁部Dfと、この前側縁部Dfと対面する車体ドア開口の前側縁部Bfの上下部には、第3図と第4図に示すようにスライドドアD閉時に、スライドドアDの前側を固定し、かつスライドドアDの前後方向の位置決めを行なうダブテールメール8とダブテールフィメール9が夫々配設されていた(ニッサンサービス周報第427号(CA-9)昭和55年8月ニッサンキャラバン・ホーミーE23型車の紹介参照)。

〔考案が解決しようとする問題点〕

しかしながら、かかる従来のスライドドアDの支持構造にあつては、スライドドアDの上下端部が各アーム1, 2とスライドレール5, 6との嵌合支持であるとともに、スライドドアDの後側縁部Drはドアロック装置Lとストライカとの噛合支持により、またスライドドアDの前側縁部Dfはダブテール8, 9との嵌合支持により夫々支持されていたため、車両側面衝突時によりスライドドアDに車室内方向への荷重が作用した場合、スライドドアDが変形し、ダブテールメール8がダブテールフィメール9からドアのスライド方向に逃げてしまい、両者の嵌合が外れスライドドアの前部側が大きく変形してしまうという不具合を有していた。

かかる不具合を解決する手段としては、車体側面のドア開口縁部とスライドドアD自体を補強材等を介して補強することも考えられるが、しかし、この手段によれば車体重量が嵩むばかりか、コスト高となるとともに、スライドドアDの幅寸法が増加することから車室内空間が狭まるという問題を含んでおり、にわかには採用できないという不具合を有していた。

この考案は、かかる現状に鑑み創案されたものであつて、その目的とするところは、車体側面のドア開口縁部とスライドドア自体を補強することなく、スライドドアに車両側面衝突等の荷重が作

用しても、スライドドアの変形を極力防止することができる車両用ドアの非常ロック装置を提供しようとするものである。

〔課題を解決するための手段〕

- 5 本考案は上記課題を解決するため、一側縁部にドアロック装置が配設された車両用スライドドアの一側縁部と、この一側縁部に向かい合う車体ドア開口縁とのいずれか一方側にロツクストライカを取り付け、他方側にはドア閉時にロツクストライカと係合するラツチ部材を取付けてなる車両用ドアの非常用ロック装置において、上記ロツクストライカをラツチ部材に向かう軸部と、この軸部の先端部に設けられた係止部とで構成し、一方ラツチ部材を上記他方側の表面を形成する板体で構成すると共に、この板体に前記ロツクストライカがドアスライド方向で挿入される挿入孔と、この挿入孔の側部に連続して設けられスライドドアのドア変位時に前記ロツクストライカの軸部が移動可能なスリット部とを開設し、スライドドア閉時に20はラツチ部材の挿入孔にロツクストライカを挿入して該ロツクストライカの係止部を挿入孔より先方に位置させ、ドア変位時にはロツクストライカの軸部がスリット部内を移動し、係止部がスリット部の裏面周縁部と係止してロツクストライカの25スライド方向での離脱を防止するようにした車両用ドアの非常用ロック装置を手段としている。

〔実施例〕

以下添付図面に基づいて本考案の実施例を詳細に説明する。

- 30 第5図乃至第7図は、この考案の第1実施例に係る非常用ロック装置を示すものであつて、この非常用ロック装置が適用されるスライドドアDは、図示しないが、前述した従来のスライドドアDと同様、上・中・下のスライドレールを介して35車体側部に沿つて摺動可能に支持されていると共に、該スライドドアDの後側縁部には、ドア閉時にストライカと噛合するドアロック装置が配設されている。

このように支持されたスライドドアDの前側縁部Dfには、ロツクストライカ11が取付けられている。このロツクストライカ11はスライドドアDの前側縁部Dfにボルト・ナットBにより固定される基部12と、スライドドアDの前側縁部Dfと向かい合う車体ドア開口の前側縁部Bfに向

かつて上記基部12から突出する上下一対の軸部13a, 13bと、これら軸部13a, 13bの先端部をつなぐ係止部14とで構成され、軸部13a, 13bおよび係止部14でコ字状断面を形成している。

一方、上記ロツクストライカ11の取付部位と対面する車体ドア開口の前側縁部Bfにはエンボス形成された凹部15が形成され、この凹部15の裏面にはレインフォース16が溶接固定されていると共に、上記凹部15の開口側には、ラツチ部材17がボルトナット（図示せず）で固着されている。

このラツチ部材17は、上記凹部15を閉塞して扁平状表面を形成する略菱形状の板体18で構成され、この板体18には上記ロツクストライカ11の軸部13a, 13bおよび係止部14がドアスライド方向で自由に挿入される縦長形状の挿入孔19と、この挿入孔19の上部および下部から左右両側方向に連通し、スライドドアDのドア変位時に前記ロツクストライカ11の軸部13a, 13bがそれぞれ移動可能なスリット部20a, 20bおよび21a, 21bがそれぞれ開設されている。

それ故、スライドドアDを閉じる場合には、ロツクストライカ11がラツチ部材17の挿入孔19内に自由に入り込み、係止部14が挿入孔19より先方の凹部15内に位置する一方、この状態において、例えば車両側面衝突などによってスライドドアDの車室内方向への変形荷重が作用しスライドドアDが車室側へ変位したような場合には、第7図に示すように、ロツクストライカ11の軸部13a, 13bがラツチ部材17の挿入孔19内からスリット部20a, 20b内へと横方向に移動する。そして、上記スライドドアDの変位によってロツクストライカ11はスライド後方に引張力(F)を受けるが、ロツクストライカ11の係止部14がスリット部20a, 20bの裏面周縁部と係止するため、上記ロツクストライカ11のラツチ部材17からの離脱が防止されることになる。このようにして、車両衝突時にはスライドドアDの前側縁部Bfでも車体との係合状態が保持されることになるため、スライドドアDが外れてしまうといったことがなく、スライドドアDの変形量が小さく抑えることができる。また

スライドドアDの上・下並びに前後をドア変形時に支持することとなるから、上記変形荷重を分散させることができ、スライドレールやドアロック装置等の耐久性も向上するという効果も奏する。

5 このような作用効果は、車室内に積み重ねた荷物が大きく崩れてスライドドアDに車外方向への変形荷重が作用した場合にも有し、この時にはロツクストライカ11の軸部13a, 13bがラツチ部材17のスリット部21a, 21b内に移動する。

第8図と第9図は、この考案の第2実施例に係る非常用ロツク装置を示すものであつて、この実施例に係る非常用ロツク装置は、ロツクストライカ23' とラツチ部材24' に開設される孔形状を15 変更した他は構成及び作用が第1実施例と同様である。

すなわち、この実施例において、ロツクストライカ23' はラツチ部材24' に向かつて突出する軸部25と、この軸部25の先端に形成され該軸部20 25の径より大径に形成された円形の係止部26とで構成され、上記軸部25の後端に刻設されたねじ部27にはナットNが螺装されている。他方、上記ラツチ部材24' は先の実施例と同一の板体18の中央部にロツクストライカ23' の係止部26より大径の挿入孔28と、この挿入孔28の左右両側方向に連続して開設され、上記軸部25の軸径より多少径の大きなスリット部28a, 29bとを有する。

そして、スライドドア閉時には、第1実施例と同じ様にロツクストライカ23' がラツチ部材24' の挿入孔28内に侵入し、係止部26が挿入孔28より突出して凹部15内に位置するが、側面衝突などによってスライドドアDに変形する程の外力が加わった時には、スライドドアDの変位により軸部25がスリット部29a内へ移動し、かつロツクストライカ23' のスライド方向への逃げに對して係止部26がラツチ部材24' のスリット部29aの裏面周縁と係止するため、両者の係合状態が確保され、スライドドアDが外れてしまうの40 を防止することができる。

尚、上記実施例にあつては、ロツクストライカ11, 23をスライドドアDに配設し、ラツチ部材17, 24を車体側に配設した場合を例にとり説明したが、ロツクストライカ11, 23を車体

側に、ラッチ部材 17, 24 をスライドドア D 側に配設してもよい。

また、この考案にあつては、非常用ロック装置をダブルテールと併用してもよいことは勿論である。

#### 【考案の効果】

この考案は、以上の構成を含むことにより、車体重量を増加することなく、車両側面衝突時等においては、ロツクストライカがスライド方向でラッチ部材から抜け出るのを確実に防止することができるので、スライドドアの車体からの離脱が防止されると共に、スライドドアの変形を極力抑えることができる。しかも該変形時におけるスライドドアの支持部材に加わる荷重を分散して各支持部材の耐久性も向上するという効果も奏する。

#### 図面の簡単な説明

第1図は、この考案が適用されるスライドドアを有する自動車の側面図、第2図は第1図II-II線拡大断面図、第3図は第1図III-III線断面図、第4図はダブルテールメールとダブルテールフィメールの構成を示す斜視図、第5図はこの考案の第1実施例に係る非常用ロック装置の構成を分解して示す斜視図、第6図は同装置の配設状態を示す断面図、第7図はスライドドア変位時の断面図、第8図はこの考案の第2実施例に係る非常用ロック装置の構成を分解して示す斜視図、第9図は同装置の配設状態を示す断面図である。

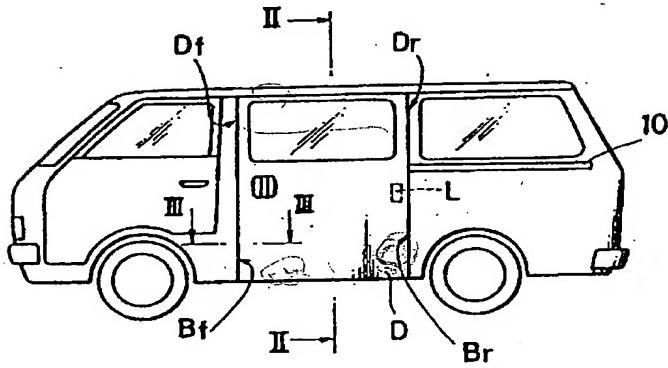
- 5 10 D……スライドドア、Df……前側縁部（他側縁部）、Dr……後側縁部（一側縁部）、Br……車体ドア開口の前側縁部、L……ドアロック装置、  
17, 24……ラッチ部材、11, 23……ロツクストライカ、13a, 13b, 25……軸部、  
15 14, 26……係止部、18……板体、19, 28……挿入孔、20a, 20b, 21a, 21b……スリット部、29a, 29b……スリット部。

線拡大断面図、第3図は第1図III-III線断面図、第4図はダブルテールメールとダブルテールフィメールの構成を示す斜視図、第5図はこの考案の第1実施例に係る非常用ロック装置の構成を分解して示す斜視図、第6図は同装置の配設状態を示す断面図、第7図はスライドドア変位時の断面図、第8図はこの考案の第2実施例に係る非常用ロック装置の構成を分解して示す斜視図、第9図は同装置の配設状態を示す断面図である。

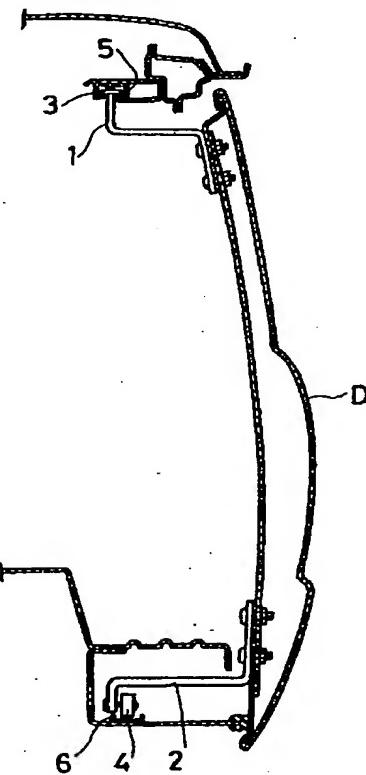
#### 図面の簡単な説明

第1図は、この考案が適用されるスライドドアを有する自動車の側面図、第2図は第1図II-II

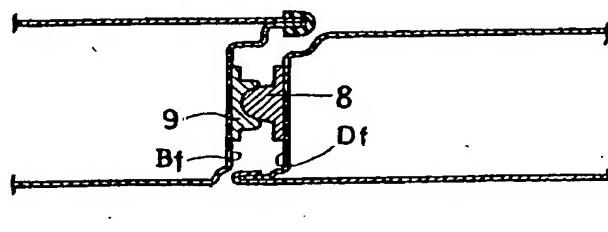
第1図



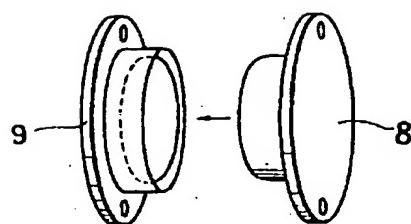
第2図



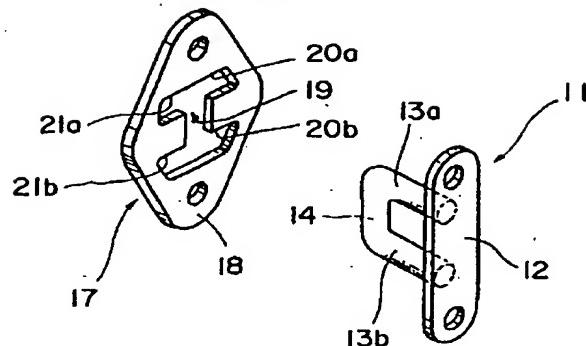
第3図



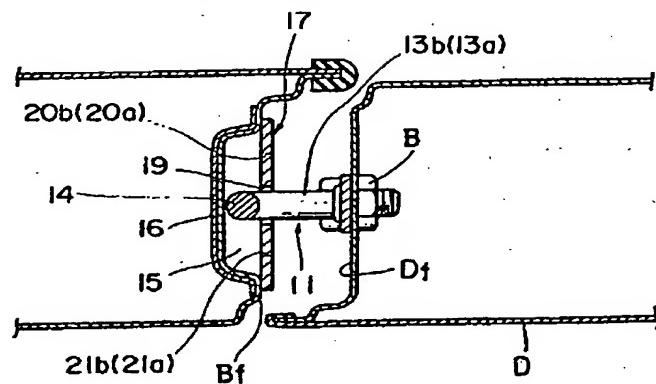
第4図



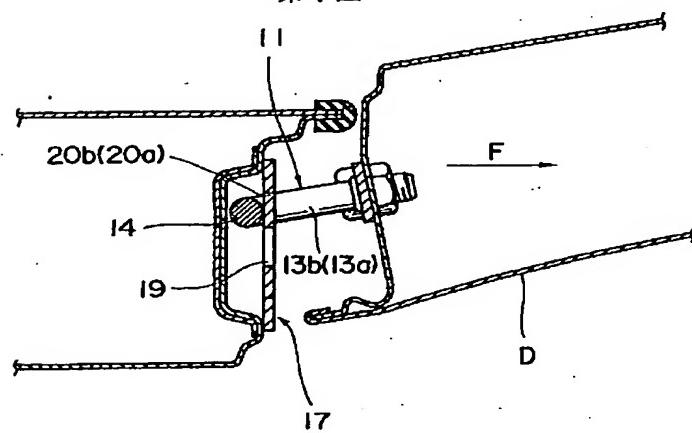
第5図



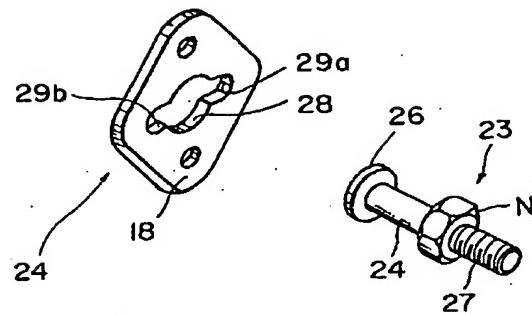
第6図



第7図



第8図



第9図

